Extron® Electronics

INTERFACING, SWITCHING AND DISTRIBUTION

取扱説明書

RGB 160xi, 164xi

Universal Interfaces

68-549-01
0305

www.extron.com

Extron Electronics, USA
1230 South Lewis Street
Anaheim, CA 92805
USA
714.491.1500
Fax 714.491.1517

Extron Electronics, Europe
Beeldschermweg 6C
3821 AH Amersfoort
The Netherlands
+31.33.453.4040
Fax +31.33.453.4050

Extron Electronics, Asia
135 Joo Seng Road, #04-01
PM Industrial Building
Singapore 368363
+65.6383.4400
Fax +65.6383.4664

Extron Electronics, Japan
Kyodo Building
16 Ichibancho
Chiyoda-ku, Tokyo 102-0082 Japan
+81.3.3511.7655
Fax +81.3.3511.7656

FCC クラス A 通告

注意：本製品は FCC 規則パート 15 に基づいてテストされ、クラス A デジタル装置の規格に合格しています。これらの規格値は、商用環境で使用しても実質的な妨害が発生しないように設計されています。本製品は
電磁波エネルギーを発生し、また使用しております。さらに、それを放射する場合もあります。本製品を
本取扱説明書の指示に従って正しく取り付けていない、または正しく使用しない場合は、電磁波を利用した通信に妨害を与える可能性があります。本製品を住宅地で使用すると、ラジオやテレビなどの受信に障害を与える場合があります。障害を与えた場合、その改善作業は自己の費用で行う責任があります。

注意：本製品のテストでは、シールドケーブルを使用して周辺機器を接続しています。従って、本製品の規格準拠確認テストにおいては、必ずシールドケーブルを使用してください。

Extron Electronics の保証規定

本取扱い説明書および本製品に添付されたラベル等の注意書きに基づくお客様の正常なご使用のもとで、保証期間内に万一故障した場合には、無償にて故障箇所を当社所定の方法で修理させていただきますので、
お買い上げの弊社代理店にお申し出下さい。また本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負わないものとします。

尚、次のような場合には、保証期間内であっても有償修理になりますので、ご了承ください。

1. お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。

2. 使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または特殊な設置環境および不当な修理や改造による故障および損傷。

3. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災、地変あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷。

✚安全上のご注意

※エクストロン製品を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。
また本製品の設置・管理・操作に携わる方にお読み頂き、いつでも参照できるように適切な場所に備え置いて下さい。

絵表示について

この「安全上のご注意」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してからお読みください。
なお今回お買い上げいただきました製品に、当てはまらない注意事項もありますが、ご了承下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

▶ 絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⚠ 警告

1. 異常が発生したらすぐに電源プラグを抜く
   - ■万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて代理店等に修理を依頼して下さい。また、お客様による修理は危険ですので、絶対にお止めください。
2. 内部に水や異物が入ったら
   - ■万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて代理店等に修理を依頼して下さい。
3. 表示された電源電圧以外は使用しない
   - ■火災、感電の原因となります。
4. 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない
   - ■本機の裏ぶた、カバー等は絶対にあけないで下さい。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
   - ■本機を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因となります。
5. 中に物を入れない
   - ■本機の開口部から、金属物や燃えやすい物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災、感電の原因となります。
6. 放熱を妨げない
   - ■本機の通風孔又は吸気孔をふさがないで下さい。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
   - ■本機をラック等風通しの悪い所に設置する場合は、必ず換気等の設備を設けてください。内部に熱がたまり火災の原因となります。
   - ■本機にテーブルクロスをかけたり、また、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないで下さい。
7. 水の入った容器、小さな金属物を置かない
   - ■本機の上に、水の入った容器、小さな金属物を置かないで下さい。中に入った場合、火災・感電の原因となります。
8. 雷が鳴りだしたら機器に触れない
   - ■雷が鳴りだしたら、機器や電源プラグや電源コードに触れないで下さい。感電の原因となります。
9. 故障した状態で使用しない
   - ■そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて代理店等に修理を依頼して下さい。
10. 落としたり破損した状態で使用しない
    - ■万一、謝って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合はそのまま使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて代理店等に修理を依頼して下さい。
11. 電源コードを傷つけたり、加工しない
    - ■電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）代理店等に交換を依頼して下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
    - ■電源コードの上に重い物をのせたりしないで下さい。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
    - ■電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないで下さい。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
12. 水のかかる所で使用しない
    - ■本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

1. 指定された機器以外とは接続しない
   - ■火災・感電・故障の原因となります。
2. 電源コード、電源プラグの注意
   - ■電源コードを熱器具等高温になるもののそばに、近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。
   - ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となります。
   - ■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグをもって抜いてください。
   - ■電源コードを束ねた状態で使用しないで下さい。発熱し火災の原因となることがあります。
   - ■長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
   - ■移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを全て外してから移動させてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
3. 設置上の注意
   - ■強度の足りない台や、不安定な場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。
   - ■本機の上に重い物を置かないで下さい。バランスがくずれて倒れたり、落下して、怪我の原因となることがあります。
4. 次のような場所には置かない
   - ■湯気や油煙が当たるような場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
   - ■湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
5. 点検、その他の注意
   - ■お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてから行なってください。感電の原因となることがあります。
   - ■本機の吸気孔等にほこりのたまったまま、長期間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。
   - ■電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こす事が知られています。定期的にプラグのほこりを取り除いてください。

目次

第 1 章　はじめに 1-1
- 本取扱説明書について 1-2
- インターフェイス機器について 1-2
- 特徴 1-2

第 2 章　パネル操作と設置について 2-1
- フロントパネル 2-2
- リアパネル 2-3
- 設置 2-4
  - 設置について 2-4
  - インターフェイス機器を取り付ける 2-5
    - ラック取り付け（RGB 164xi のみ） 2-5
    - アンダーデスク取り付け 2-7
    - スルーデスク取り付け（埋め込み式） 2-7
  - ケーブルを接続する 2-8
    - DIP スイッチを設定する 2-11
    - 内部ジャンパーを設定する 2-11

付録 A　仕様、製品番号、および寸法図 A-1
- 仕様 A-2
- アクセサリーと製品番号 A-5
- 取り付けブラケット用寸法図 A-7

第一章

はじめに

本取扱説明書について
インターフェイス機器について
特徴

本取扱説明書について

本書では、2 機種のユニバーサルインターフェイス機器（RGB 160xi および RGB 164xi）について説明します。特に指定されている場合を除き、本書では 2 機種のユニバーサルインターフェイス機器を「本機」と表示します。

インターフェイス機器について

RGB 160xi、164xi は、300 MHz の映像帯域幅と 15-160 kHz の水平周波数範囲を持つユニバーサルインターフェイス機器です。

特徴

2 色の電源 / 信号 LED： この LED は、本機の電源がオンになると琥珀色(アンバー)に点灯します。さらに入力信号が来ている場合は緑色に点灯します。

ゲイン / ピーク制御： 信号を増幅します。ケーブルが長いために伝送途中に信号が劣化してしまう場合に信号を補正します。

ステレオ音声： フロントパネルには音声入力コネクター、リアパネルには 3.5 mm ターミナルブロックの出力コネクターがあります。

水平シフト： 画像を水平方向にシフトします。シフト値が上限または下限に達すると、MIN/MAX LED が赤色に点灯します。

ADSPTMTM （アドバンスドデジタル同期処理）： 信号の同期タイミングに影響を与えることなく水平センタリングなどの同期処理を行います。これを使用すると、LCD や DLP プロジェクター、プラズマディスプレイなどのデジタルディスプレイ装置用に出力される信号に対して水平センタリングを適用できます。

2 系統の出力（RGB 164xi のみ）： 本機には、同一の信号を出力する 2 系統の出力コネクターが搭載されています。

バッファー付きローカルモニター出力： ローカルモニター用の出力は、バッファリングされています。

アンダー / スルーデスクマウント： オプションのマウントキットを使用すると、本機を通常のテーブルトップ以外にデスクの下やデスクを貫通した状態でも取り付けられます。

ラックマウント（RGB 164xi のみ）： RGB 164xi は、EIA 規格の 1U ラックにも取り付け可能です。

第二章

パネル操作と設置について

フロントパネル
リアパネル
設置

フロントパネル

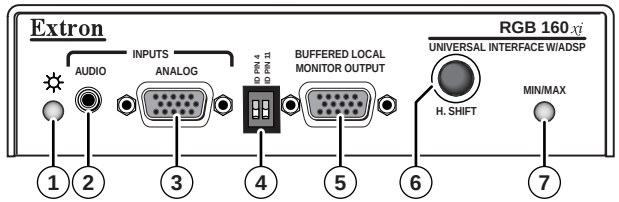


図 2-1　RGB 160xi フロントパネル

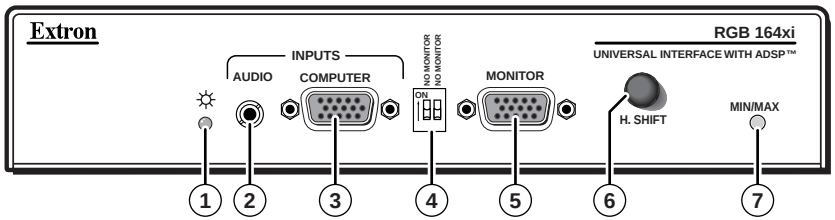


図 2-2　RGB 164xi フロントパネル

① **2 色の電源 / 信号 LED：** この LED は、本機の電源がオンになると琥珀色(アンバー)に点灯します。さらに入力信号が来ている場合は緑色に点灯します。
① **音声入力ジャック：** 3.5 mm ステレオ入力
③ **アナログ入力コネクター：** アナログ映像入力用ミニ D-Sub 15 ピン メスコネクター
④ **ID ビット設定用 DIP スイッチ：** ローカルモニター出力に接続されていないラップトップコンピューター用のローカルモニター出力 ID を設定します。
⑤ **バッファー付きローカルモニター出力：** ローカルモニター出力用ミニ D-Sub 15 ピン メスコネクター
⑥ **水平シフトつまみ：** リモート出力ディスプレイの水平シフトを調整します。

メモ　DDSP に設定されている場合は、水平シフト機能が無効になります。

⑦ **MIN/MAX LED：** 水平および垂直シフト調整値が上限または下限に達した場合に、赤色に点灯します。

リアパネル

⑧ **AC 電源入力：** 標準 IEC AC 電源コネクター (100 - 240VAC、50/60 Hz)
⑨ **3 段階のゲイン / ピーク スイッチ：** Unity、50 % ピークゲイン、および 100 % ピークゲイン。UNITY では出力と入力レベルが同じになり、ピーキングを追加しません。

メモ　本機とディスプレイ装置間を接続するケーブルがおよそ 35 メートル以下の場合、UNITY 以外の設定では信号補正が強すぎる場合があります。このような場合に は、GAIN / PEAK スイッチの設定を変更することで改善される場合があります。

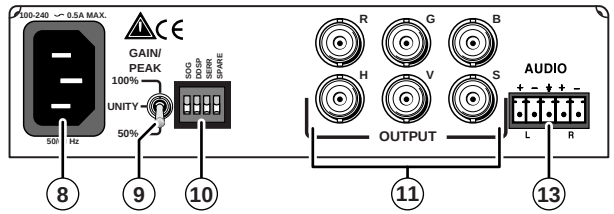


図 2-3　RGB 160xi リアパネル

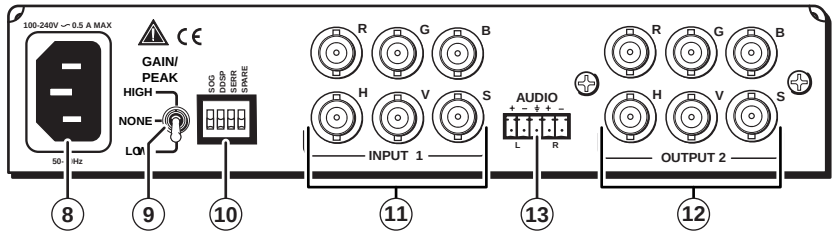


図 2-4　RGB 164xi リアパネル

⑩ **DIP スイッチ：** 出力における同期信号の選択とデジタルディスプレイ同期処理（DDSP）、セレーションパルス、ローカルモニター映像入力端子の終端インピーダンス切替え等のスイッチです（詳細は、本章の「DIP スイッチの設定」を参照してください）。

メモ DDSP に設定すると、水平シフト機能が無効になります。

⑪ ⑫ **BNC 出力：** RGsB と RGBS、RGBHV 出力用の 6 つの BNC コネクター

⑬ **ステレオ音声出力：** 音声用の 3.5 mm ターミナルブロックコネクター

設置

設置について

本書内で特に指定されている場合を除き、2 機種のユニバーサルインターフェイス機器の設置方法は同じです。詳細は、本章の「ケーブルを接続する」を参照してください。

1. 必要に応じて、オプションのマウントキットを使用してラック（RGB 164*xi*のみ）やアンダーデスク、スルーデスク、その他の面に本機を取り付けます。次の「インターフェイス機器を取り付ける」を参照してください。

2. コンピューターとそのモニターの電源を切ります。次にプロジェクターまたはディスプレイ装置の電源を切ります。本機から電源コードを抜きます。

3. コンピューターを本機のフロントパネルにあるアナログ入力コネクターに接続します。
ローカルコンピュータモニターを使用している場合は、バッファー付きローカルモニター出力コネクターにモニターを接続します。詳細は、本章の「ケーブル接続」を参照してください。

4. 音声接続については、本章の「ケーブルを接続する」を参照してください。

5. プロジェクターや他の出力ディスプレイ装置を本機の BNC コネクターに接続します。接続方法の詳細は、本章の「ケーブルを接続する」を参照してください。

6. DIP スイッチを設定します。本章の「DIP スイッチを設定する」を参照してください。

7. コンピューターとモニター、プロジェクター / ディスプレイ装置、本機の電源を入れます。画面に画像が表示されます。画像が表示されない場合は手順 2 から 7 を再度確認し、必要に応じて再調整します。水平および垂直同期極性の調整と垂直同期パルス幅の設定は、本章の「内部ジャンパーを設定する」を参照してください。

インターフェイス機器を取り付ける

RGB 164*xi* はラックマウントが可能です。両機種とも、アンダーデスクやスルーデスクの取り付けが可能です。

ラック取り付け（RGB 164*xi* のみ）

19 インチの 1U ユニバーサルラックマウントキット（製品番号 60-190-01）を使用して、RGB 164*xi* を次の手順で取り付けます（図2-5）。

1. 底部にゴム脚が付いている場合は、それらを取り外します。

2. 付属している 2 本の 4-40 x 3/16 インチのビスを対角線上にあるビス穴に挿入し、本機を固定します。

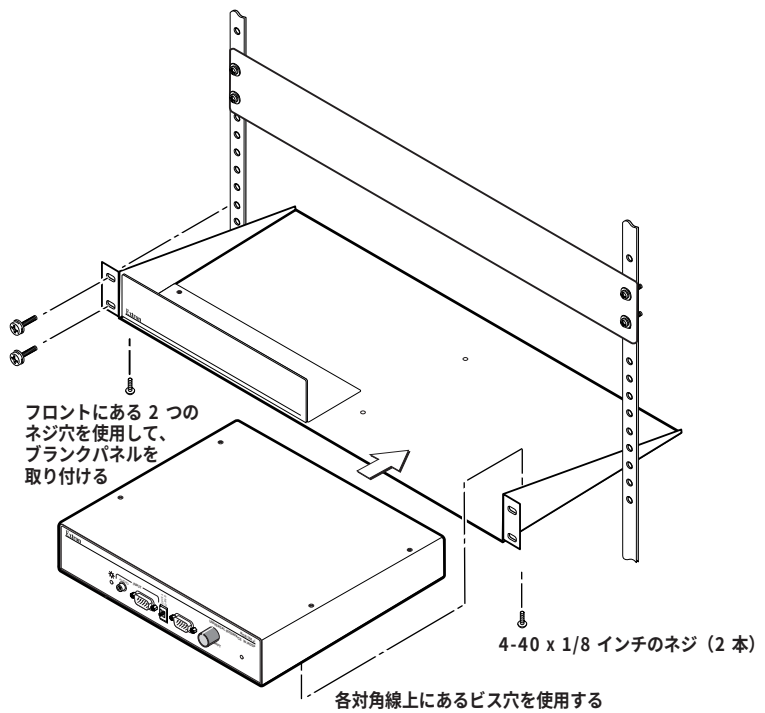


図 2-5　RGB 164*xi* のラック取り付け

3. ラックマウントキットにはブランクパネルが付属しています。もうひとつの 1U ユニットを配置しない場合は、このブランクパネルを開いている部分に取り付けます。

アンダーデスク取り付け

本機をデスクや演壇の下に取り付けるには、次の手順で行います。

1. マウントキットに付属している 6 本のネジを使用して、取り付けブラケットを本機に取り付けます（図2-6）。

2. 本書の最後に添付されている寸法図を使用して、本機を取り付ける面に 4 つのネジ穴位置に印を付けます。アンダーデスクマウント用寸法図に載っている寸法を使用します。

3. 印を付けた 4 つのネジ穴位置に 3/32 x 1/4 インチのネジ穴を開けます。
4. 付属している 4 本の木ネジを使用して、取り付け面にブラケットを取り付けます。

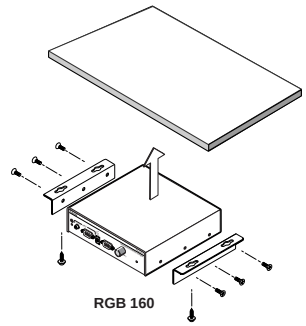


図 2-6　アンダーデスク用ブラケットを取り付ける

スルーデスク取り付け（埋め込み式）

本機をデスクやカウンターに埋め込んで取り付けるには、次の手順で行います。

1. 4 本のネジとワッシャーを使用して、取り付けブラケットを本機に取り付けます。図 2-7 を参照してください。

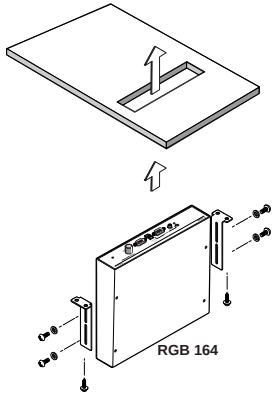


図 2-7　スルーデスク用ブラケットを取り付ける

2. 本書の最後に添付されている寸法図を使用して、本機を取り付ける面に 4 つのネジ穴位置に印を付けます。スルーデスクマウント用寸法図に載っている寸法を使用ます。

3. 印を付けた 4 つのネジ穴の位置に 3/32 x 1/4 インチのネジ穴を開けます。

4. 付属している 4 本の木ねじを使用して、取り付け表面の下にブラケットを取り付けます。

ケーブルを接続する

本機は、直接コンピューターまたはワークステーションのローカルモニター、プロジェクターまたは他のディスプレイ装置に接続できます。

機種ごとの接続方法を図 2-8 と図 2-10 に示します。

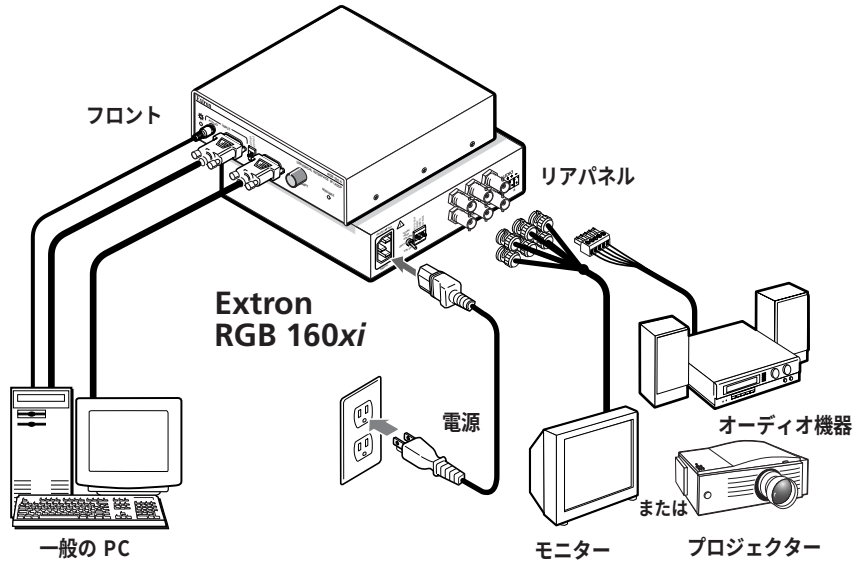


図 2-8　RGB 160*xi* の接続例

1. 本機のアナログコネクターにコンピューターを接続します。

メモ　低品質の入力ケーブルを使用した場合は、規定の性能が発揮されない場合があります。

2. アンバランスステレオ音声ソース（コンピューターや CD プレーヤーなどの装置）をフロントパネルにある音声入力ジャックに接続します。

音声ジャックの配線方法は、図 2-9 に従ってください。

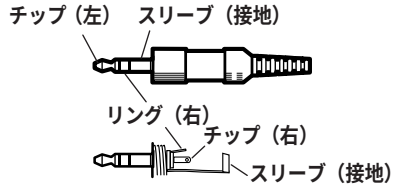


図 2-9　音声入力ジャックの配線

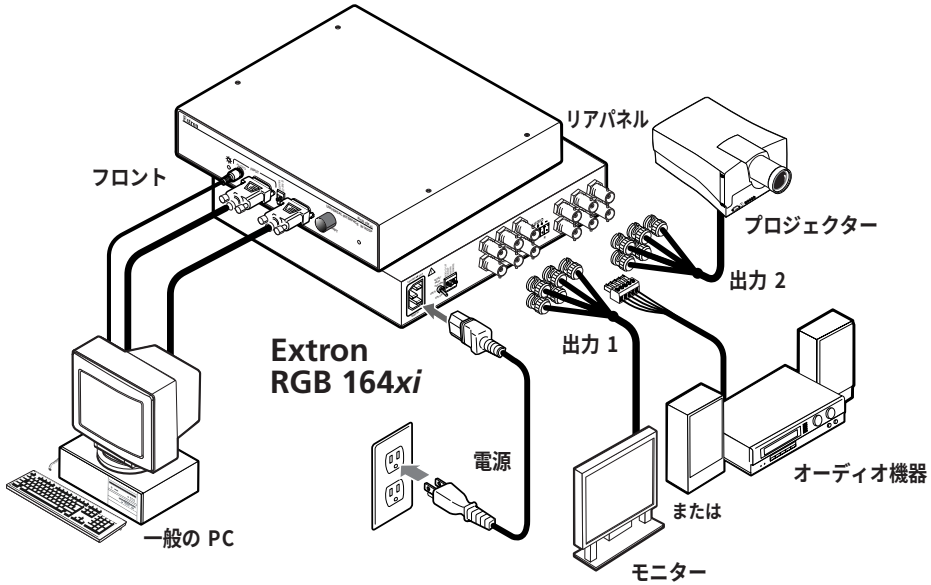


図 2-10　RGB 164xi の接続例

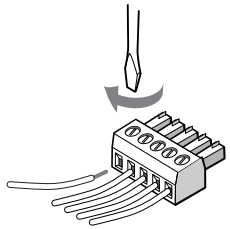
3. BNC ケーブルを使用して、プロジェクターまたは他のディスプレイ装置に本機を接続します。

RGBHV： 垂直と水平ケーブルの両方が接続されている場合、個別の水平と垂直の同期信号を出力します。

RGB： S (コンポジット同期) ケーブルが接続されている場合、コンポジット同期信号を出力します。

RGsB： 同軸ケーブルが接続されており、赤と緑、青のチャネルだけが終端（75 オーム）されており、かつ SOG OUT スイッチがオンに設定されている場合（本章の「DIP スイッチを設定する」を参照）、緑のチャネルに同期信号を出力します。

4. 音声システムを接続する前に、接続する音声システムがアンバランスまたはバランスかを確認し、リアパネルにあるバランスまたはアンバランス音声出力用のステレオ音声出力コネクターに、音声装置を接続します。配線方法に従って（図 2-11 参照）、ターミナルブロックコネクターの開口部に各配線を挿入します。上部のネジをしっかりと締めて線を固定したら、配線済み音声コネクターをリアパネルにある音声出力用のミニ 5 ピン ターミナルコネクターに挿入します。



警告　間違って音声出力を配線すると、音声出力回路が破損する場合があります。

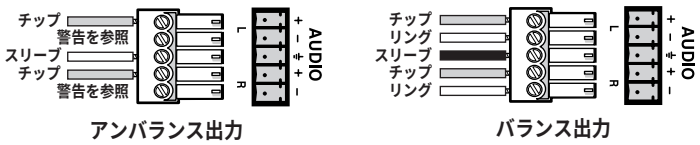


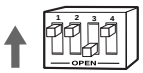
図 2-11　音声出力用ミニ 5 ピン ターミナルコネクターの配線

警告　スリーブは、接地（GND）に接続します。

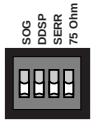
スリーブを信号線のマイナス側端子（−）に接続すると、音声出力回路が破損します。

DIP スイッチを設定する

RGB 160*xi* と RGB 164*xi* のフロントとリアパネルにある DIP スイッチを使用して、本機を設定します。スイッチはスライド式になっています。小さいドライバーなどを使用してスイッチを OPEN （オフ）側または CLOSE（オン）側にスライドします。



RGB 160xi と RGB 164xi には、4 つの DIP スイッチがリアパネルにあります。



- SOG
- デジタルディスプレイ同期処理
- セレーションパルス
- スペアー(予備)

SOG （緑色出力に同期）

オン ― SOG をオンにすると、本機は G 出力コネクターに同期信号を乗せます。(RGsB)

オフ ― SOG をオフにすると、出力は本機とプロジェクターの配線方法によって RGBS または RGBHV になります。

DDSP™（デジタルディスプレイ同期処理）

オン ― この機能をオンにすると、本機は同期処理を行いません。LCD (液晶ディスプレイ) や DLP (デジタルライトプロセッサー)、プラズマディスプレイなどのデジタルディスプレイ装置によっては、この設定を必要とする場合があります。

オフ ― この機能をオフにすると、本機は ADSP™ を使用して水平シフトなどの同期処理操作を行います。

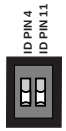
メモ DDSP 機能をオンにすると、水平シフトと垂直シフトが無効になります。

SERR （セレーションパルス）

LCD や DLP プロジェクター、プラズマディスプレイなどのディスプレイ装置の多くは、画像を正しく表示するために同期信号にセレーションパルスの存在を許容していません。画像の最上部にフラッギングや屈曲が現れる場合は、セレーションパルスを排除する必要があります。

オン ― この機能をオンにすると、同期信号にはセレーションパルスが存在します。

オフ ― この機能をオフにすると、同期信号にはセレーションパルスが存在しません。



「本機」には、ローカルモニターに接続されていないラップトップコンピューターに対して ID 用ビット情報を提供する 2 ピンの DIP スイッチが付いています。

ID PIN 4 と ID PIN 11

オン ― ローカルモニターに接続されていないラップトップコンピューターを使用する場合は両方をオンに設定します。

オフ ― 本機をローカルモニターに接続する場合は、両方のピンをオフにします。

内部ジャンパーを設定する

本機内にあるジャンパーは、ほとんどのシステムで最適に作動するように工場で事前設定されています。デフォルト設定では作動しないシステムの場合は、ジャンパーの設定を変更して適合させます。

警告 **内部ジャンパーの設定を変更する場合は、必ず認定サービス担当者にご依頼ください。**

ユーザー設定可能な内部ジャンパーにより、以下の機能を制御できます。

- 水平および垂直同期極性
- 垂直同期パルス幅

ジャンパーの設定を変更するには、次の手順で行います。本書では RGB 160xi を例にとって説明していますが、この手順は両方のインターフェイス機器に共通です。

1. 本機から AC 電源を抜き、電源を切ります。

2. 本機のカバー（ケースの上半分）を取り外します（図 2-12）。ケースからネジを取り外し、カバーを真上に持ち上げて取り外します。

警告 **本機内にあるスイッチや電子部品には手を触れないでください。触れると、本機内の IC や半導体類を破壊する場合があります。**

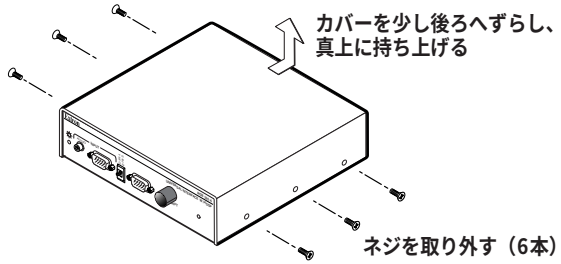


図 2-12　インターフェイス機器のカバーを取り外す

3. ジャンパーの設定を変更する前に、ジャンパー J20 と J40 の位置をメモに取っておきます。
   図 2-13 にジャンパー J20 と J40 の位置、および 2通りの 3 ピン設定の組み合わせを示します。

4. 以下のようにジャンパーを設定します。ジャンパーを設定するには、ペンチなどを使用してピンからジャンパーを引き抜き、次にオンにするピンにジャンパーを差し込みます（図 2-14）。

ジャンパーの機能は以下のとおりです。

J20 ： 同期極性ジャンパー： 出力同期極性を設定します。水平（H）と垂直（V）同期出力を入力同期極性信号に連動する、または強制的に負の信号にします。

- ピン 1 と 2 にジャンパーをセットすると、出力 H と V 同期極性が負の信号になります。

- ピン 2 と 3 にジャンパーをセットすると、出力同期信号の極性は入力同期信号に追従し、出力同期信号の極性が入力同期信号と同じになります。これはデフォルト設定です。

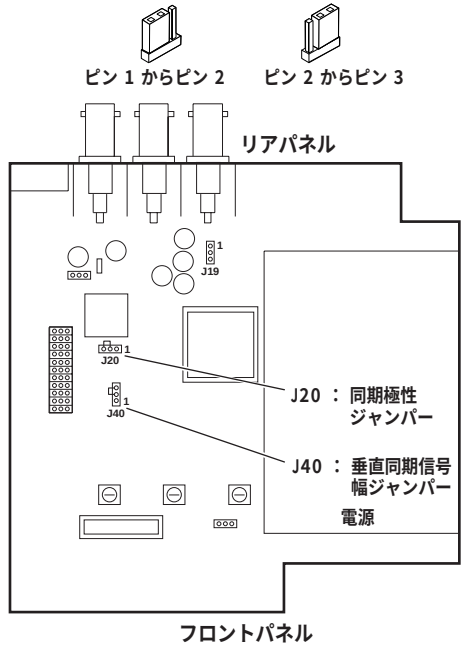


図 2-13　回路基板上のジャンパー位置

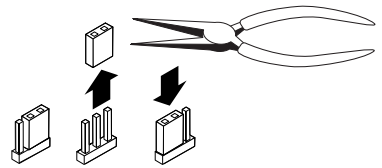
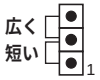


図 2-14　ジャンパー設定を変更する

J40 ： 垂直同期信号幅ジャンパー — 垂直同期信号のパルス幅を設定します。ある特定のデジタルディスプレイ装置では、入力同期信号のパルス幅に対して特定の仕様を要求する場合があります。画像が表示されない、画像の一部がカットされる、または画像がスクランブルするような場合は、垂直同期パルス幅を調整するか、または ADSP™ から DDSP™ へ切り替えてみます。



- ピン 1 と 2 にジャンパーをセットすると、出力の垂直同期パルス幅は短く（狭く）なります。
- ピン 2 と 3 にジャンパーをセットすると、出力の垂直同期パルス幅は広くなります。これはデフォルト設定です。

5. ケースカバーを元に戻し、ネジを取り付けます。

付録 A

仕様、製品番号、および寸法図

仕様
アクセサリーと製品番号
取り付けブラケット用寸法図

仕様

映像

ゲイン ..... Unity、50% ピーキング (0.725V p-p)、
100 % ピーキング (0.75V p-p)
帯域幅 ..... 300 MHz (- 3dB)

映像入力

数 / 信号の種類 ..... 1 / アナログ RGBHV、RGB、RGsB、RsGsBs
RGB 160*xi*、RGB 164*xi*
コネクター ..... 1 / ミニ D-Sub 15 ピン (メス)
最小 / 最大レベル ..... アナログ：0.3V to 1.5V p-p
(Unity 時でオフセットなし)
インピーダンス ..... 75 オーム
水平周波数 ..... オートスキャン、15 kHz ～ 130 kHz
垂直周波数 ..... オートスキャン、30 Hz ～ 120 Hz
リターンロス ..... - 30dB @ 5 MHz
最大 DC オフセット..... 4.0V

映像出力

数 / 信号の種類..... RGB 160*xi*：1 / アナログ
RGBHV、RGB、RGsB
RGB 164*xi*：2 / アナログ
RGBHV、RGB、RGsB
コネクター..... RGB 160*xi*：6 / BNC メス
RGB 164*xi*：2 x 6 BNC メス
1 / ミニ 15 ピン D-Sub メスコネクター、
ローカルモニター用バッファー付き出力
最小限 / 最大レベル..... アナログ：0.70V p-p 入力時 0.7V p-p ～ 0.75V
インピーダンス ..... 75 オーム
リターンロス ..... - 30dB@5 MHz

同期

入力の種類..... RGBHV TTL (±)、 RGB TTL (±)、RGsB
0.3V (-)、RsGsBs 1.3V (-)
出力の種類 ..... RGBHV (±)、RGB (±)、RGsB (-)
入力レベル..... ± 0.2 VDC オフセット時 2V ～ 5.5V p-p (最大)
出力レベル..... 4V ～ 5V p-p
入力インピーダンス..... 510k オーム
出力インピーダンス..... 75 オーム
最大伝搬遅延 48nS
最大立ち上がり /
立ち下がり時間 3.5nS
極性 ..... RGBHV ：RGBHV 入力の場合、極性は入力に連
動、他の場合は負
RGB、RGsB：負

音声

ゲイン..... アンバランス出力 0dB、バランス出力 + 6dB
周波数レスポンス..... 20 Hz ～ 20 kHz の範囲で ±0.05dB
THD + ノイズ.....0.03%@1kHz、0.3%@20 kHz (最大定格出力時)
S/N ..... >90 dB (最大定格出力時)(14dBu)、バランス
ステレオ分離 ..... 1 kHz ～ 20 kHz の範囲内で >95dB

音声入力

数 / 信号の種類..... 1 / PC レベルステレオ、アンバランス
コネクター..... 1 /(3.5 mm ステレオジャック、2 チャネル、チッ
プ (左)、リング (右)、スリーブ (接地)
インピーダンス.....＞ 10K オーム、DC 結合
最大レベル..... + 8.5dBu、(アンバランス)規定 % THD + N 時

音声出力

数 / 信号の種類..... 1 / ステレオ(2 チャネル)、バランスおよびアンバ
ランス
コネクター..... 1 / 3.5 mm ミニ 5 ピンターミナルブロック
インピーダンス ..... アンバランスでは 50 オーム、バランスでは 100
オーム
ゲインエラー ..... チャネル対チャネルで ±0.1dB
最大レベル (600 オーム).. ＞ +14dBm、規定 % THD+N 時のバランス

一般仕様

電源 ..... 100VAC ～ 240VAC、50/60 Hz、
15 W 電源内蔵、AC 入力電圧自動切り替え
温度 / 湿度..... 保管時： -40˚～ +70˚C (-40˚～ +158˚F) /
10% ～ 90% (非結露)
動作時： 0˚～ +40˚C (+32˚～ +104˚F) / 10%
～ 90% (非結露)
ラック取り付け..... RGB 160*xi*：ラックの取り付けはできません。
RGB 164*xi*：オプションのラックマウントキット
(製品番号 60-190-01)を使用します。
デスク／演壇取り付け... オプションのマウントキット(製品番号 #70-077-
01 および #70-077-02)を使用します。

ケースの材質 ..... 金属
ケースの寸法..... RGB 160*xi*、：幅 163mm x 高さ 44mm x 奥行
152mm(突起部含まず)
RGB 164*xi*：幅 222 mm x 高さ 44mm x 奥行
152mm(突起部含まず)
重量 ..... RGB 164*xi*：0.8 kg
RGB 160xi..... 0.6 kg
梱包済み重量 ..... RGB 160*xi* 1.4 kg)
RGB 164xi..... 1.8 Kg
振動 ..... カートン梱包状態で ISTA/NSTA
1A(International Safe Transit Association)
安全規格..... UL
準拠..... CE、FCC クラス A
MTBF ..... 30,000 時間
保証 ..... 3 年間

メモ 製品改良のため、外観および仕様を予告なしに変更する場合があります。

アクセサリーと製品番号

ユニバーサルインターフェイス機器	
RGB 160xi	60-378-01
RGB 164xi	60-485-01

マウントキット	
1U ラックシェルフ(灰色)	60-190-01
アンダーデスクマウント用キット	70-077-01
スルーデスクマウント用キット	70-077-02

ラップトップブレイクアウトケーブル

ラップトップブレイクアウトケーブルには、音声付きまたは音声なしで 3 フィート、6 フィートおよび 12 フィートが用意されています。特別仕様のケーブルについては、Extron までご連絡ください。

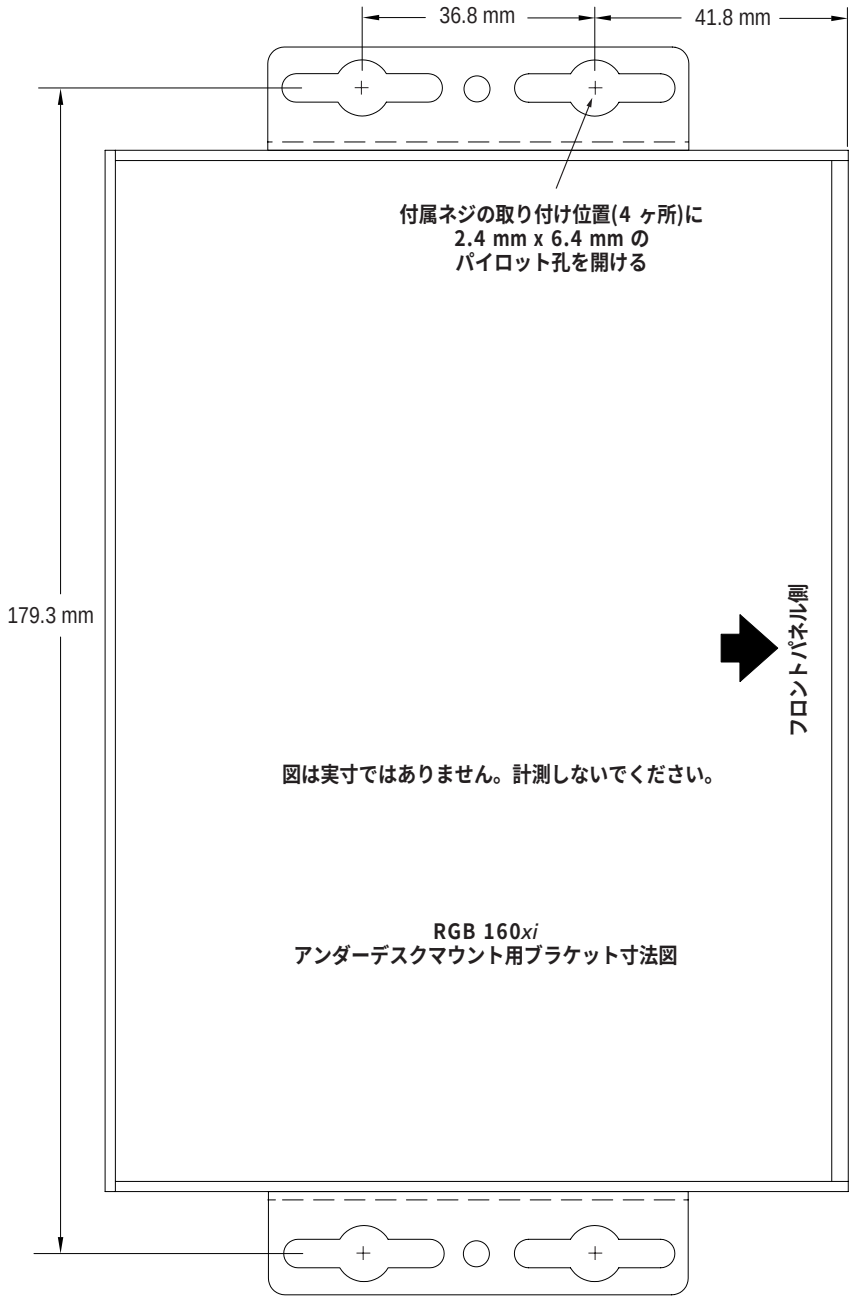
ケーブル	
LBC VGA HR 6 フィート	26-224-01
LBC Mac HR 6 フィート	26-363-0
LBC SUN HR 6 フィート(61 kHz)	26-413-01
LBC SUN HR 6 フィート(71 kHz)	26-413-02
LBC SUN HR 6 フィート(81 kHz)	26-413-03
LBC VGA HR 6 フィート A	26-441-02
LBC Mac HR 6 フィート A	26-442-02
LBC SUN HR 6 フィート A(61 kHz)	26-443-02
BC SUN HR 6 フィート A(71 kHz)	26-444-02
LBC SUN HR 6 フィート A(81 kHz)	26-445-02

信号入力ケーブルキット	
VGA M6 フィート MHR	26-238-15
VGA M3 フィート MHRA	26-490-01
VGA M6 フィート MHRA	26-490-02
VGA M12 フィート MHRA	26-490-03
Mac アダプターキット(音声付き)	70-156-01
13W3 アダプターキット(音声付き)	70-157-01

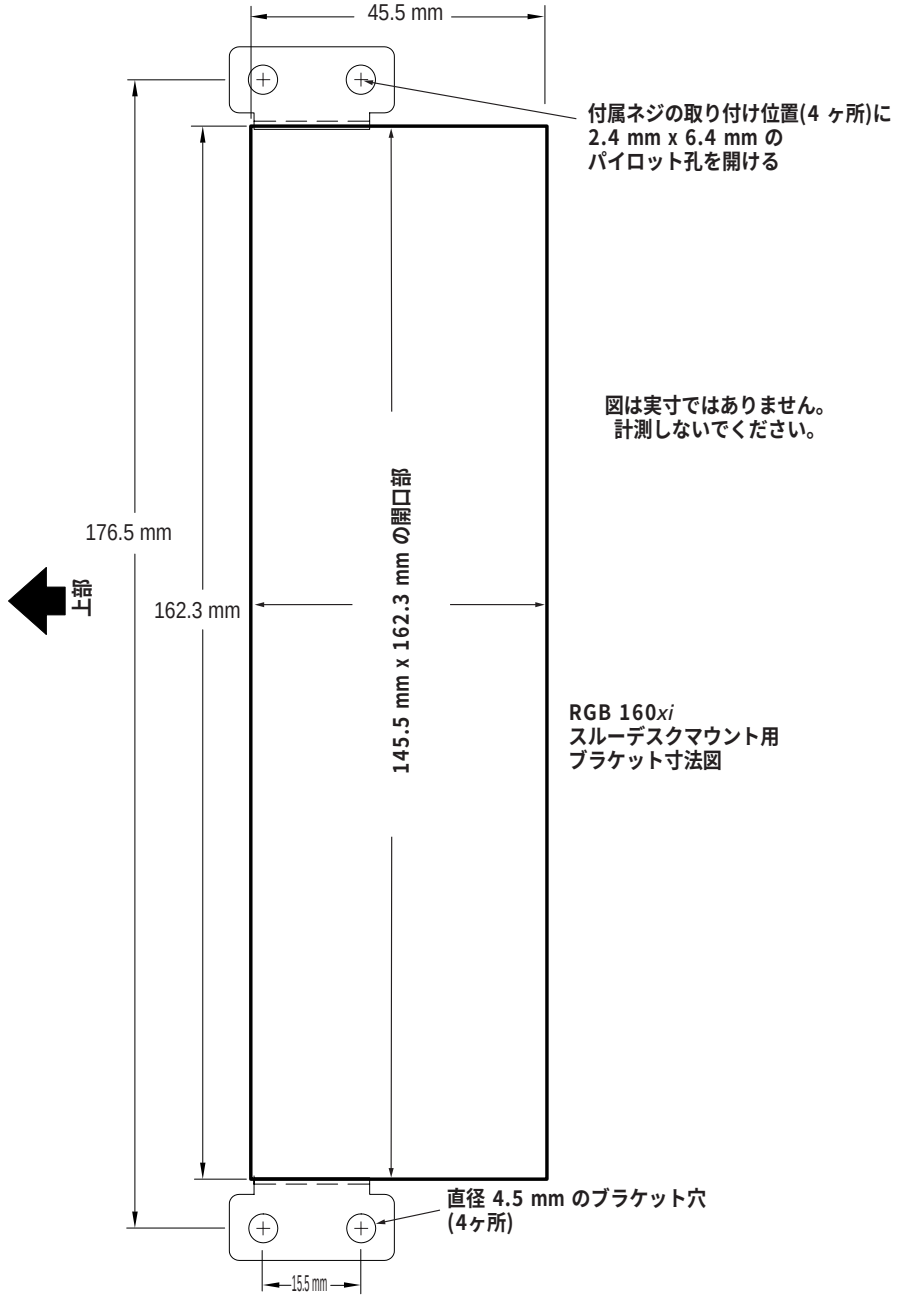
BNC ケーブル	
BNC-5 3 フィート HR	26-260-15
BNC-5 6 フィート HR	26-260-01
BNC-5 12 フィート HR	26-260-02
BNC-5 25 フィート HR	26-260-03
BNC-5 50 フィート HR	26-260-04
BNC-5 75 フィート HR	26-260-16
BNC-5 100 フィート HR	26-260-05
BNC-5 3 フィート HRP	26-378-01
BNC-5 6 フィート HRP	26-378-02
BNC-5 12 フィート HRP	26-378-03
BNC-5 25 フィート HRP	26-378-04
BNC-5 50 フィート HRP	26-378-05
BNC-5 75 フィート HRP	26-378-06
BNC-5 100 フィート HRP	26-378-07

その他	
3.5mm 5 ピンターミナルブロック コネクター	10-319-10
14 番線インストールバルク (500 フィート)	22-120-02
14 番線インストールバルク (1000 フィート)	22-120-03
17 番線インストールプレナムバルク (500 フィート)	22-111-03
17 番線インストールプレナ バルク (1000 フィート)	22-111-04

取り付けブラケット用寸法図

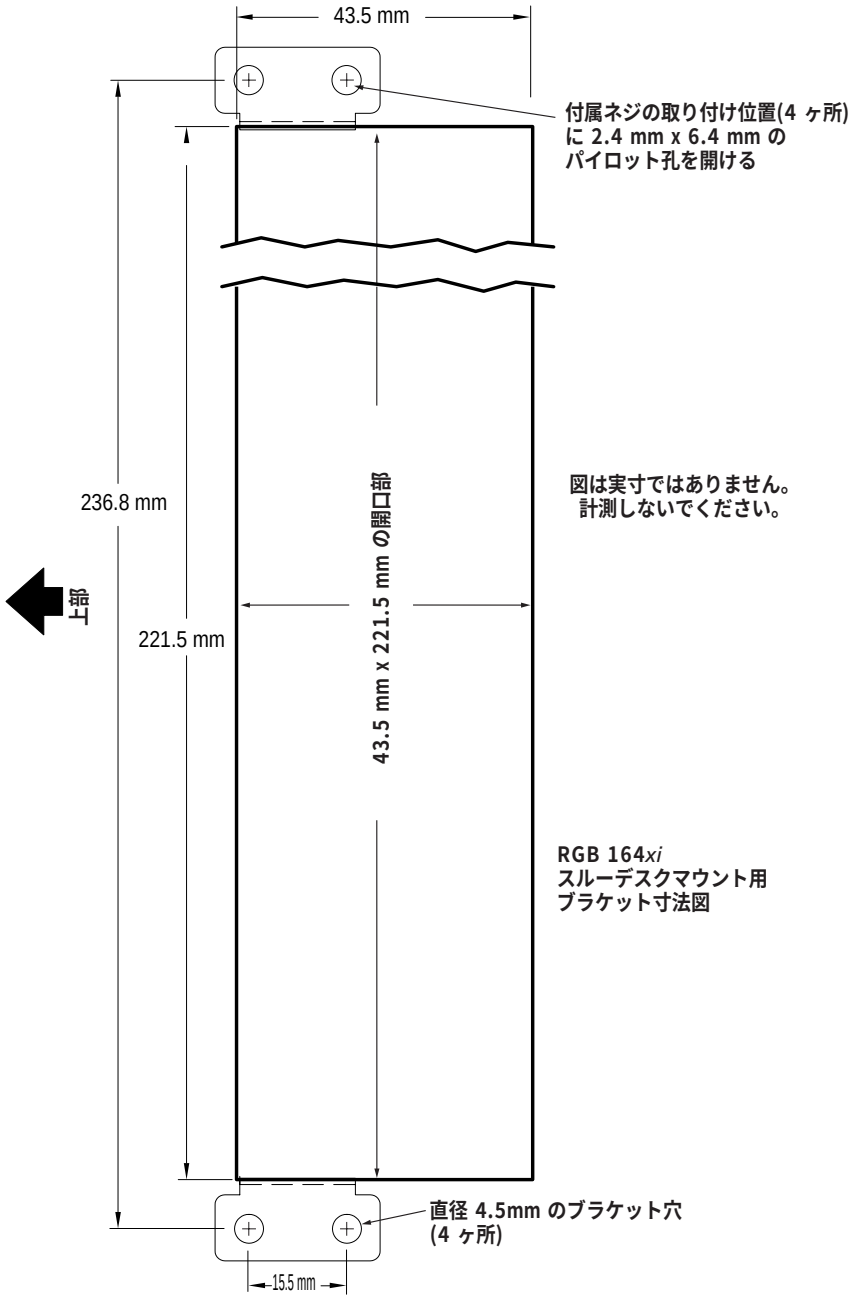


RGB 160*xi*
アンダーデスクマウント用ブラケット寸法図



RGB 160*xi*
スルーデスクマウント用
ブラケット寸法図

RGB 164*xi*
アンダーデスクマウント用ブラケット寸法図



RGB 164*xi*
スルーデスクマウント用
ブラケット寸法図